

資金運用で SDGsの取り組み強化へ

独立行政法人国際協力機構「JICA」の債券を購入

磐田市は、基金を安全かつ効率的に運用するため、基金から国債等の債券などを購入しています。

この度、SDGsへの取り組みを強化し、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に向けて、独立行政法人国際協力機構「JICA」が発行するソーシャルボンド（第64回国際協力機構債券）を購入しました。

1 投資債券の概要

銘柄：第64回国際協力機構債券（期間20年）

格付け：R&I（格付投資情報センター）の評価：AA+

⇒「信用力が高く、信用力リスクは極めて低い。」

発行日：令和4年1月21日（金）

投資額：1億円

利率：保留（1/21に確定する）

2 独立行政法人国際協力機構「JICA」が発行するソーシャルボンドとは

国際協力の促進並びに開発途上国において持続可能な経済成長や貧困削減、気候変動対策などの社会的課題解決に資するプロジェクトの資金調達のために発行されている債券です。

3 磐田市で現在実施している SDGsの取り組み例

- ・古着を回収し、難民キャンプの子どもたちに届けています

※竜洋中学校の生徒たちが学習の一環で、小学校や地域からも古着を募り、ユニクロ（㈱ファーストリテイリング）が実施する海外難民の子どもたちに集めた服を届ける取り組みに参加しています

- ・家庭で余った食料を集めて困っている方にとどける「フードバンク」を実施しています

※社会福祉協議会と市が連携し、認定「NPO法人フードバンクふじのくに」が実施している「フードドライブ」に協力しています